

『神は約束を実現させる』～妥協すべからず～ 【創世記 17:15～21】

最今、食肉偽装問題や政治を見ていると、一番大切なところで妥協をしているように思えます。最初は小さい事だったかもしれませんが。しかしその小さな妥協が大きな社会問題になってしまっています。そして私たちの目も対、組織に対しては非常に厳しくなっております。しかし大切な事は自分自身に目を向けるべきなのです。妥協すべき事には妥協しないで、妥協してはならない場面や事柄に対して安易にできていませんか。自分自身に対しては妥協していませんか。聖書を見ますと、人は最高の状態として創造されました。しかし、アダムとエバは神様の教えに対して妥協をしてしまったと見る事ができます。今回の聖書箇所はアブラハムです。アブラハムとサラも神様からの約束を忘れてしまい、女奴隷のハガルに子供を産ませ、約束の子よりも目に見える召使に生まれたイシュマエルが「生ながらえる」ように願っています。ここに妥協を見る事ができます。ルカ 1:45には「主によって語られたことは必ず実現すると信じきった人は、何と幸いなことでしょうか」とあります。神様からの約束を信じきることが大いなる祝福につながるのです。協調とはどのようなことでしょうか。言葉の意味は互いの意見を反映し理解しあっていくことです。神様と協調して約束をこの地上において実現させていくことが大事なポイントであります。そのためには私自身が小さな妥協を繰り返さないようにしていきましょう。①**神様の約束をはっきり知る**。ことが大切であります。周りから教えられた内容を思い出しましょう。何か忘れてしまったことはありませんでしょうか。②**与えられた約束を信じる**。祈りの中で信じていくことが大切です。③**結果がでるまで妥協しない**。ここが試されるところです。目の前に起きることは最悪と思われることかもしれません。そのような状況の中でも妥協しないと決断してほしいのであります。神様の約束を思い出して、祈っていきましょう。